

日本比較内分泌学会会誌「比較内分泌学」投稿要領

2021年7月一部改訂

投稿に際しての要領、注意点が記載されています。投稿前に必ずお読みください。

1. 本誌は、日本比較内分泌学会が発行するオンラインの会誌です。寄せられた記事は随時オンラインで会員へ向けて公開すると共に、年2回(5月と10月)にはPDF冊子スタイルでJ-STAGEよりの公開も行います。記事は、総説、博士論文レビュー、原著論文紹介、テクニカルノート、実験動物紹介、学会主催記、学会印象記、初めての論文、エッセイで構成されます。
2. 研究成果発表のための原著、短報は原則として掲載しません。General and Comparative Endocrinology誌などの他の専門誌へ投稿して下さい。
3. 投稿原稿の掲載については、日本比較内分泌学会 学術誌編集委員会で査読し、決定します。
4. 本誌に掲載された記事を複製したい場合は、公益社団法人日本複製権センターと包括複製許諾契約を締結されている企業の従業員以外の方は、著作権者から複製権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作権は、日本比較内分泌学会に帰属します。ただし、自身の著作を使用する場合は、出典を明示した上で、本学会に断りなく自由に使用できます。なお、著作権の転載・翻訳のような複製以外の許諾は直接本学会へ連絡して下さい。
 - ・ 一般社団法人 学術著作権協会 (JAC)
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41
Web: www.jaacc.jp
 - ・ アメリカ合衆国における複製については以下に連絡して下さい。
Copyright Clearance Center Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers MA 01923, USA
Tel: +1-(978)750-8400 Fax: +1-(978)750-4744 Web: www.copyright.com
5. 寄稿や記事の掲載において、掲載料等の著者負担はありません。
6. 学術誌編集委員からの依頼原稿は、依頼日から2か月後を締切とします。
7. 原稿の送り先
 - ・ 学術誌編集委員からの依頼原稿は、当該委員へE-mailでお送りください。
 - ・ その他の掲載希望の原稿は、編集委員長(下記)へE-mailでお送りください。
〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8
昭和大学医学部生化学講座 原口省吾
E-mail: shogo@med.showa-u.ac.jp Tel: 03-3784-8116
8. 著者によるゲラの校正は1回のみ行います。校正時には、校正業者から著者宛にE-mailで初校が送られますので、校正してご自身で業者までご返送下さい。

投稿に際しては、次頁以降の執筆要領に従ってください。

日本比較内分泌学会会誌「比較内分泌学」執筆要領

2021年7月一部改訂

1. 原稿は、すべて Word を使用する。フォントサイズは 12 ポイントで、タイトル、サブタイトルは游ゴシック、本文は游明朝、英数字は Times New Roman を使用する。
2. 図はカラーを推奨する。
3. 校正依頼等に必要なので、メールアドレスと電話番号を投稿時に学術誌編集委員まで知らせる。
4. **原稿の書き方**は以下のとおりにする。
 - ① 最初の頁の上段に、表題と著者名と所属、E-mail を書く。
 - ② 本文に節を設ける場合、游ゴシック太字で **1. ○○**、**2. ○○**、**3. ○○**、**4. ○○** などをつけて節を示す。
 - ③ 文字はなるべく常用漢字と新仮名使いとする。
 - ④ 専門用語、物質名などは、できる限り日本語で表し、必要に応じてその原語を () で示す。ただし、略号についてはそのまま用いる。(例) アルドステロン (Ald)、cAMP
 - ⑤ 生物名は、片仮名書きの和名で表し、必要に応じて初出時に学名を () で示す。学名は斜体 (Times New Roman イタリック) とする。(例) ウシガエル (*Rana catesbeiana*)
 - ⑥ 人名は、姓の原綴りで示す。(例) 小林らは; Bern らは
 - ⑦ 原則として国際単位 (SI) 記号、化学記号、数学記号は立体、量記号は斜体とする。(例) *h* cm、A、*x* g、H₂O、*sin x*
 - ⑧ 数字は原則としてアラビア数字 (半角) を用いる。ただし、漢字と結合して名称を表すものは漢字とする。(例) 1つ、2~3時間、50個、数十個、一例
 - ⑨ 文献の記載方法
参考文献は本文の出現順に並べ、1 から順に通し番号をつけて文末にまとめる。本文中での引用箇所には、通し番号を英数字と角括弧で示す。
(例) (連続の場合) 小林らによると [1-4]、(飛んでいる場合) …である [5,8,10]。
 - ⑩ 文末の参考文献の記載は、次のようにする。
著者が 20 名より多いときは、21 人目以降は“ら”あるいは“*et al.*”とする。
[雑誌] 通し番号) 著者名, タイトル, 雑誌名(省略形), 巻, ページ, 発行年, DOI.
[書籍] 通し番号) 著者名, 書名, 出版社, ページ, 発行年.
(例)
 - 1) Bern AH, Gorbman A, Kobayashi H, Tsutsui K, Takei Y. The Japanese society for comparative endocrinology. *Gen Comp Endocrinol*, 110, 125-138 (2007).
<https://doi.org/XX.XXX/JSCE.XXXX>
 - 2) Kawashima S, *Comparative Endocrinology, Zoophysiology*, vol. 1. Springer-Verlag, Berlin, pp. 10-25 (1993).
 - 3) 川島誠一郎, 内分泌学, 朝倉書店, pp. 6-7 (1993).
 - ⑪ 表は簡潔な標題と必要な説明をつけて、本文とは別に作成する。
 - ⑫ 図は 300dpi 以上~1,200dpi 以下で作成し、ファイルサイズは 1 つの図につき 3 MB 以下とする。図のフォーマットは tiff、pdf、ppt、gif、jpg、png 形式とする。
 - ⑬ 図には必ず簡潔な標題をつける。図の標題と説明は本文末にまとめて書く。
 - ⑭ 図および表の表示は、出現順に図 1、図 2 あるいは表 1、表 2 のように通し番号で行う。

- ⑮ 図および表を文献から引用した場合は、引用を明記するとともに、引用の許可が必要な場合には、著者の責任で出版社から許可（copyright）を取っておく。

5. **原稿の種類**は以下のものがある。

表紙絵) 当該号の記事中の写真・模式図などから学術誌編集委員が選定して掲載する。

総説) 比較内分泌学あるいは関連分野における最近の目立った研究成果や学会で注目された記事を掲載する。2,000～7,000 字程度、図表は 3～5 枚程度とする。

博士論文レビュー) 学位取得後間もない研究者が博士論文の内容を要約したものを掲載する。2,000～5,000 字程度、図表は 3～5 枚程度とする。

原著論文紹介) 最新の研究成果を公表した原著論文の内容を要約したものを掲載する。2,000～3,000 字程度、図表は 3 枚程度とする。

テクニカルノート) 会員に知って欲しい、あるいは役立つと思われる情報、実験方法、教材あるいは意見の提供を掲載する。3,000～8,000 字程度、図表は 3～5 枚程度とする。

実験動物紹介) 実験に用いる動物の入手法、飼育法、学術的な特徴などを掲載する。1,000～5,000 字程度、図表は 3～5 枚程度とする。

学会主催記) 国内外の学術集会を主催した紹介記事を掲載する。2,000～5,000 字程度、図表は 3～5 枚程度とする。

学会印象記) 国内外の学術集会の紹介記事を掲載する。教員、ポスドク、大学院生や学部生などの広く会員からの投稿を歓迎する。1,000～2,000 字程度、写真 1～2 枚程度とする。

初めての論文) これから論文を執筆しようとする若い研究者に向けて、最初にアクセプトされた論文についての苦労話やエピソードなどを掲載する。1,000～5,000 字程度、写真は 2 枚程度とする。

エッセイ) 研究活動の思い出や留学などで滞在した研究室、あるいは海外調査や見聞の紹介記事を掲載する。できれば写真を添付する。